

気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC） 会員の皆様

平素よりお世話になっております、  
WXBC 事務局です。

10 月末から開催しております、地方版 WXBC セミナーにつきましては、多数のご参加、関係企業様へのご周知等にご協力をいただき、誠に有り難うございます。年明けには、大阪、福岡、仙台を予定しておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

さて、今回のニュースレターVol. 16 の内容は以下のとおりです。

---

I N D E X

---

1. 第 4 回 WXBC セミナーの企画が固まりました
  2. WXBC セミナーへのパンフレットの提供について
  3. 気象ビジネス事例の情報提供のお願い（募集期間を 12 月 15 日に延長）
- 

1. 第 4 回 WXBC セミナーの企画が固まりました

人材育成 WG で検討が行われ、第 4 回 WXBC セミナーの企画が固まりました。以下の内容で開催に向けて準備を進めて参ります。

第 4 回 WXBC セミナーでは、「海洋と環境」についてより噛み砕いてご紹介いたします。

気象データがビジネスに繋がることをご実感いただき、それに必要な気象データ・技術についてご理解いただくことで、“気象データを活用してみる価値アリ”と感じていただくとともに、実際の活用のお手伝いになることを期待しておりますので、奮ってご参加ください。

また、セミナー本体と併せて、気象データに馴染みのない方、どのような気象データがあるかをお知りになりたい方等を対象に、気象データの全体像+気象データの入手方法（第 3 回 WXBC セミナーと同じ内容を少し短めに）の説明を第 4 回 WXBC セミナーの日の午前中に行います。前回聞き逃した方、改めて聞いてみたい方には是非ご参加いただければと思います。

○概要

海洋の観測・予測データなどを活用したビジネスの現状と可能性に関して

ご紹介するとともに、海洋に関する観測・予測データ、および紫外線解析データなど環境に関するデータの利用に関して説明を行います。また、第3回に引き続き、入門的な説明及び気象庁内の見学会を実施します。

○日時

平成29年12月1日（金）

11時00分～12時00分（第1部 気象データの全体像+入手方法）

13時00分～15時55分（第2部 セミナー本体）

16時00分～16時30分（現業室見学。並行して参加者からの個別質問受付）

○場所

気象庁（千代田区大手町1-3-4）

- ・講堂（気象庁2階。「気象データの全体像+気象データの入手方法」及びセミナー本体）
- ・予報・地震火山現業室・気象科学館

○対象者

- ・WXBC 会員・非会員：120名
- ・「気象データの全体像+入手方法」及びセミナー本体は事前申込制（先着順）とさせていただきます。
- ・予報・地震火山現業室見学は事前申込者40名とさせていただきます。なお、参加者多数の場合は、事前申込者先着順の上、1社1名に調整させていただきます。
- ・気象科学館はどなたでも見学可能です。セミナー終了後30分程度は説明員を配置いたしますので、是非お立ち寄りください。

○内容

(0) 気象データの全体像+気象データの入手方法

（第3回WXBCセミナーでの内容と同一）

気象データにはどのようなものがあるのか、気象データ提供に関する気象業務法の規定、気象データの入手方法等について、気象情報利用に関する入門的な内容としてご説明いたします。

(1) 気象ビジネスの具体例について紹介 ～海上気象サービスについて～

気象ビジネスの具体例を通じて気象データの利活用場面を実感していただけるよう、運航管理支援サービスや港湾荷役支援サービスなどの海上気象サービスに関する事例の紹介を（株）ウェザーニューズ様に行っ

ていただきます。

(2) 気象ビジネスの具体例について紹介 ～海流発電について～

気象ビジネスの具体例を通じて気象データの利活用場面を実感していただけるよう、海流を利用した発電の事例の紹介を(株)IHI様に行っていただきます。

(3) 海洋と環境について

海流発電などで安定的なエネルギー源として注目されている海洋の観測・予測データに関する概要や利用(データの概要や特徴、利用上の注意点等)についてご説明いたします。また、紫外線解析データなど環境に関する話題についても情報提供を行います。

(4) 気象庁見学

気象データをより身近に感じていただくとともに、気象データの作成される過程についてご理解いただけるよう、気象庁の予報・地震火山現象室をご見学いただきます。

(5) セミナーの最後に、会場において、講師や気象庁職員に対して、講演内容、気象情報の利活用等について参加者の皆様より自由にご質問いただける場を設けます。講演の中で深く聞いてみたいこと、普段気象データに関して疑問に感じていること、気象データの利活用での課題等については是非お聞かせいただきたいと思っております。

○ご連絡事項

- (1) 「気象データの全体像」及び「気象データの入手方法」の資料について「気象データの全体像+気象データの入手方法」を受講される方は、初めての受講であるかどうかにかかわらず「気象データの全体像+気象データの入手方法」の資料をご持参ください。また、セミナー本体を受講いただく方もこれらの資料をご持参いただくことをお勧めいたします。

資料は以下の URL でダウンロード・閲覧可能です。

[http://www.data.jma.go.jp/developer/consortium/seminar\\_0926\\_00.pdf](http://www.data.jma.go.jp/developer/consortium/seminar_0926_00.pdf)

○お申し込み方法

参加ご希望の方は下記 URL よりお申し込みください。〆切は 11 月 29 日(水)までとさせていただきますが、参加者多数の場合は募集を締め切る場合がございますので、あらかじめご了承ください。

[https://realmedialab.com/wxbc\\_seminar/](https://realmedialab.com/wxbc_seminar/)

☆セミナー受付に関するお問い合わせ先

気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) 事務局 (受付担当)

電話/ファックス: 045-503-0211

E-Mail: wxbc\_seminar@realmedialab.com

(受付時間 10:00~18:00 土、日、祝日を除く)

## 2. WXBC セミナーへのパンフレットの提供について

上記1. でお知らせいたしました第4回 WXBC セミナーにおいて、会員様の活動を参加者に広く知っていただけるよう、ご希望に応じ、会員各社様のパンフレットを会場の受付に置き、参加者に自由にお取りいただこうと思います。

ご希望される会員各社様におかれましては、気象データを用いたサービス等が記載されたパンフレットを、準備の都合上、11月29日(水)までに WXBC 事務局 (〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁 情報利用推進課 田中宛) までご郵送いただければ幸いです。なお、予定している参加者数は120名ですので、ご送付いただくパンフレットの部数の参考としていただきますようお願いいたします。

ご希望される会員各社様におかれましては、どうかよろしくようお願いいたします。

## 3. 気象ビジネス事例の情報提供のお願い (募集期間を12月15日に延長)

前回のニュースレターVol. 9 でお願いさせていただきました事例集の募集について、募集期間延長のお知らせと事例集の募集について、再度のお願いです。

新規気象ビジネス創出ワーキンググループでは、気象データがビジネスに有効に活用できることを企業の皆様にお伝えすることにより、より多くの企業の皆様に気象データをご活用いただけるよう、利益を生み出すことに主眼を置いた、ビジネスにおける気象データの利活用事例集を作成・共有することとしております。

つきましては、新規気象ビジネス創出ワーキンググループのメンバーの皆様を含め、会員の皆様におかれましては、公開可能な事例につきまして、計画段階・実践段階問わず、ビジネスにおける気象データの利活用事例を是非ご提供いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

利活用事例のご提供の詳細につきましては、添付の資料をご参照ください。自社における取り組みの“詳細”に限らず、例えば、報道発表で既に出されているような取り組みの“概要”だけご紹介いただいたり、知っている海外での取り組みについてご紹介いただいたり、といったことも含めてご検討いただければ幸いです！

ご不明な点、ご不安な点等ございましたら、なんなりと事務局までお問い合わせ  
させていただきます。

〆切：平成 29 年 12 月 15 日

提出先：気象ビジネス推進コンソーシアム事務局

--Weather Business Consortium (WXBC) -----

気象ビジネス推進コンソーシアム事務局

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

TEL： 03-3212-8341 (内線2286)

E-Mail： wxbc@met.kishou.go.jp

HP： <http://www.data.jma.go.jp/developer/consortium/index.html>

-----